

## 通販サイトを利用する場合の注意事項

(茨城県警察本部サイバー犯罪対策課からのメールより抜粋 2021.1.23)

- ・通販サイトを利用する場合は、公式通販サイトや、Amazon、楽天 shop、Yahoo shop 等の大手通販サイト内で商品を検索する等信用できる通販サイトを利用することをお勧めします。
- ・Google や Yahoo の検索ページで商品名や型式番号等をキーワードにして検索すると、詐欺サイトが多数紹介されてしまうことがありますので注意してください。
- ・また、最近は、インスタグラムやフェイスブック等の広告から詐欺通販サイトに誘導され被害に遭われた方の相談が増えている状況です。

■ドメイン（通常、URL の場合は [http\(s\)://\(www.\)](http(s)://(www.)) の次の文字列で「/」の手前の「〇〇〇〇〇.〇〇〇〇」、メールアドレスの場合は@の最右側にある「〇〇〇〇〇〇.〇〇〇〇」の文字列）を確認すると、ある程度信用できるサイトなのかを判断することができます。

■これまでの詐欺通販サイト、偽ブランド品販売サイトに係る相談でのドメインの印象ですが、

- ・「.jp」の信用度は90%（「.jp」でも通販詐欺サイトだった事例もありますので100%ではありません）
- ・「.com」「.net」の信用度は50%
- ・「.xyz」「.shop」「.store」「.pw」「.asia」「.wang」「.vip」「.top」「.online」「.info」「.win」「.icu」等見慣れないドメインの信用度は、ほとんどない（正規なサイトの場合もあります。今回の通販詐欺サイトも「.shop」です。）

です。

■国別トップレベルドメインの知識も必要です。

- ・「.jp」は日本（jprs という団体が管理しています。）
- ・「.cn」は中国
- ・「.hk」は香港
- ・「.kr」は韓国

等です。

ウィキペディア等の国別トップレベルドメインの説明も参考にしてください。

■URL から当該通販サイトのデータがどこに保存されているのかを調べるサイト  
<https://www.aguse.jp/>

ドメインの登録情報を確認するサイト

<https://jp.godaddy.com/whois/>

<https://www.onamae.com/service/whois/>

などは、安心できるサイトなのかを判断するためには利用価値があるサイトになります。

■これらのドメイン確認が難しい場合でも、購入手続する前に連絡先電話番号に電話することが

被害に遭わないための有効な手段です。

- ・詐欺サイトは、自分のところに繋がる電話番号を表示しません。  
電話番号の表示がないか、かけても繋がらない番号、全く違う会社・店舗や個人に繋がる番号が表示されています。
- ・また、詐欺通販サイトの振込先口座は、ほぼ個人名の口座であり、日本人名の場合も、外国人名の場合もあります。
- ・何れにしても、通販サイトの振込先が個人名の口座である場合は、注意が必要です。

以上